

「辺野古」撤廃へ 市民団体が結集

京大で会議

沖縄戦の「慰霊の日」

の23日、沖縄県名護市辺野古崎での米軍基地建設に反対する全国の市民グループの代表約25人が、

京都市左京区の京都市大で会議を開いた。計画の撤廃を求める請願を秋の臨時国会に提出することを決め、同市内で署名集めをした。

各地のグループが連携して反対のうねりを高め

ようと集まった。今後、

那覇市、大阪市、京都市、東京都など11地域の市民グループが署名を集め、「辺野古の基地建設計画の白紙撤回」と「普天間基地の即時無条件全面撤去」を国会に請願する。

会議を呼びかけた立命館大4年、山下亮輔さん(22)は「米軍再編特別措置法の成立もあり、辺野古は新しい状況を迎えている。先手を打って行動を起こしていくことが必要だと思う」と話した。